

訂正

『物性研究』53-4 (1990. 1) 所載

「エントロピー的見地からの一カルノー主義者による統一的自然像への試み」

信州大・理 勝木 渥

正誤と補足 (その2)

- 388頁 5行目* 誤： $2^{N/4}$ 正： $(N+1)^{1/4}$
($2^{N/4}$ になるのは、天井が上からの輻射に対して完全に透明，下からの輻射に対して完全に不透明の場合である。)
- 393頁 6行目 誤：そして 正：他方
- 395頁 15行目* 誤：(ブドウ糖)作り出す 正：(ブドウ糖)を作り出す
- 412頁 下から14行目* 誤：腎臓でされた 正：腎臓で濾過された
- 416頁 16行目* 誤：地下高騰 正：地価高騰
- 418頁 下から9行目* 誤：組み込まれるなければ 正：組み込まれなければ
- 426頁 20行目 誤：わけの分からぬもの 正：「エントロピーな」もの

【補足】

- 388頁 25~6行目* 半径を r の分子の断面積を $4\pi r^2$ としてあるが、これは動き回る分子を点と考え、その代り、ぶつかられる方の分子の半径を2倍にしたのである。
- 398頁 9行目の光合成の化学式 $6CO_2 + 12H_2O \rightarrow C_6H_{12}O_6 + 6O_2 + 6H_2O$ に対応する、水の代りに硫化水素を利用する微生物による光合成の化学式は、
 $6CO_2 + 12H_2S \rightarrow C_6H_{12}O_6 + 12S + 6H_2O$ である。
- 413頁 「温度からみた階層性」の節では、飽和蒸気圧や浸透圧のことにも触れた方がよかった。
- 423頁 7~16行目「汗水垂らして働くことの意義」* では、金に換えられない労働の意義をもっと強調した方がよかった。
- 426頁 5行目 小説『海軍』の装丁は川端龍子なので、風神・雷神が描かれていたという、私の記憶は正しいであろう。

この頁に書いた訂正・補足のうち * をつけたものは、このノートを読んだ 西森一夫君 (信州大学大学院理学研究科物理学専攻 修士課程1年生) の指摘・コメントによって訂正・補足した。
(1990. 6. 14 勝木 渥)